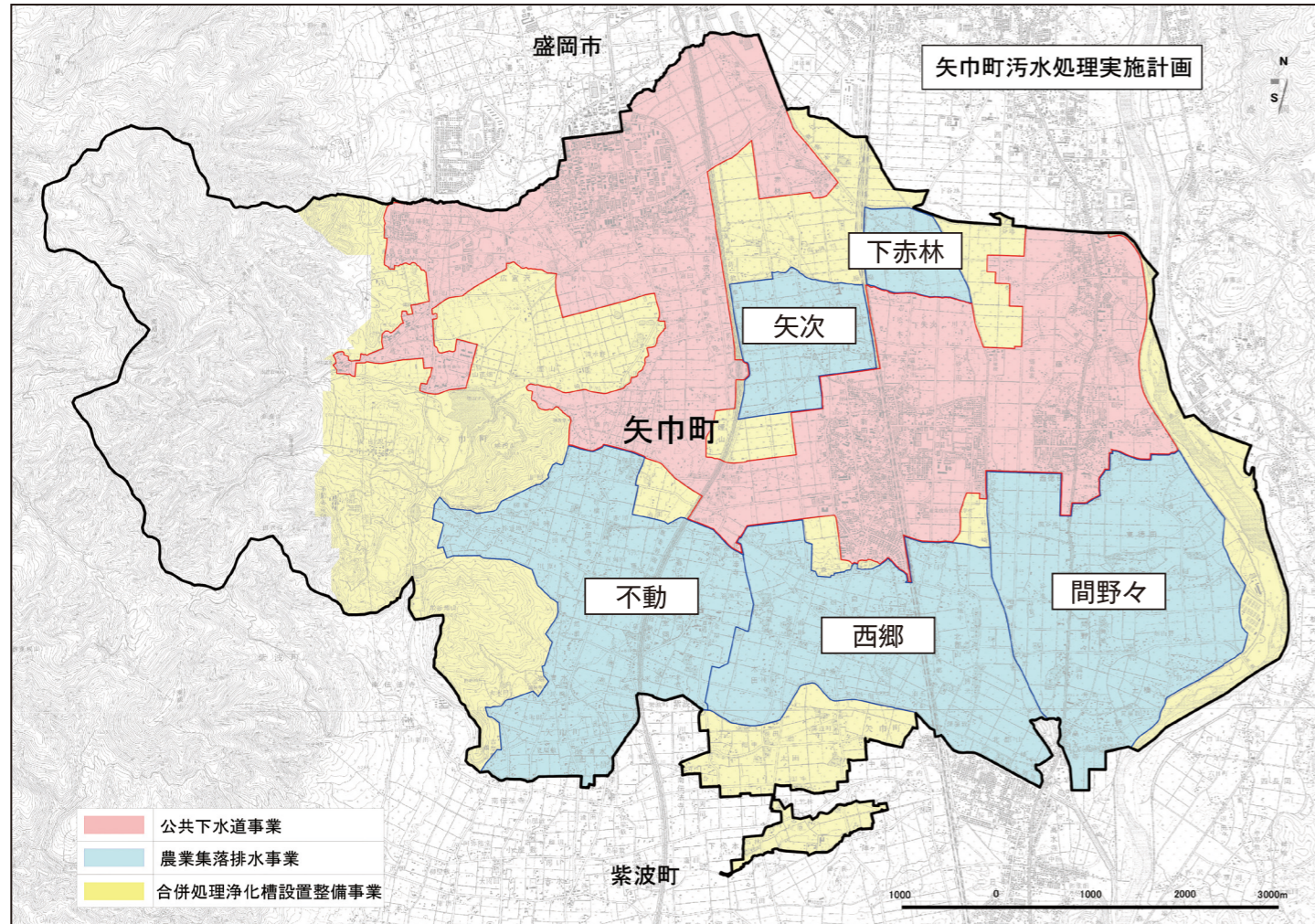


矢巾町汚水処理実施計画



〈公共下水道事業〉

昭和52年から事業に着手し、平成30年度には概ね完了予定となっています。
各家庭から排出された汚水は、盛岡市都南の「都南浄化センター」で処理されています。

〈農業集落排水事業〉

農業集落排水事業は、矢次地区、間野々地区、下赤林地区、矢巾西郷地区、不動地区の5つの地区で、各地区ごとに処理施設を設置し、汚水を処理しています。

〈合併処理浄化槽設置整備事業〉

公共下水道事業・農業集落排水事業以外の地域で、個人で合併浄化槽を設置し汚水を処理しています。(町では浄化槽設置者に対して、補助金を交付しています)

水道やはば かわら版

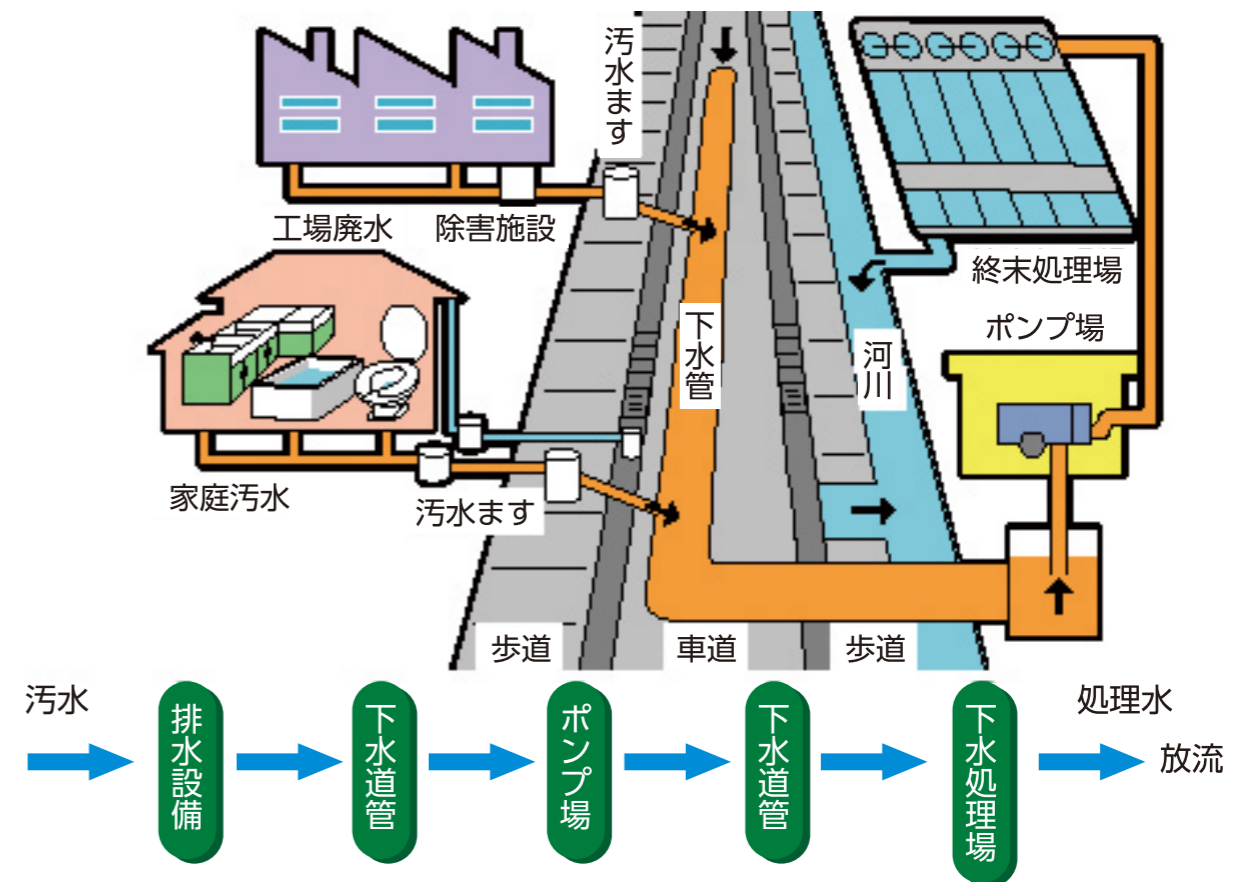
〈矢巾町の下水道事業〉

今月の「水道やはば かわら版」は、下水道の現状についてお知らせします。

矢巾町の下水道事業は、昭和52年から事業に着手し、「公共下水道事業」、「農業集落排水事業」、「合併浄化槽事業」の3つの処理方式で整備を進めています。



「水道やはばイメージキャラクター」
じゃじゃっと君



出典：公益社団法人日本下水道協会ホームページをもとに作成

矢巾町上下水道課

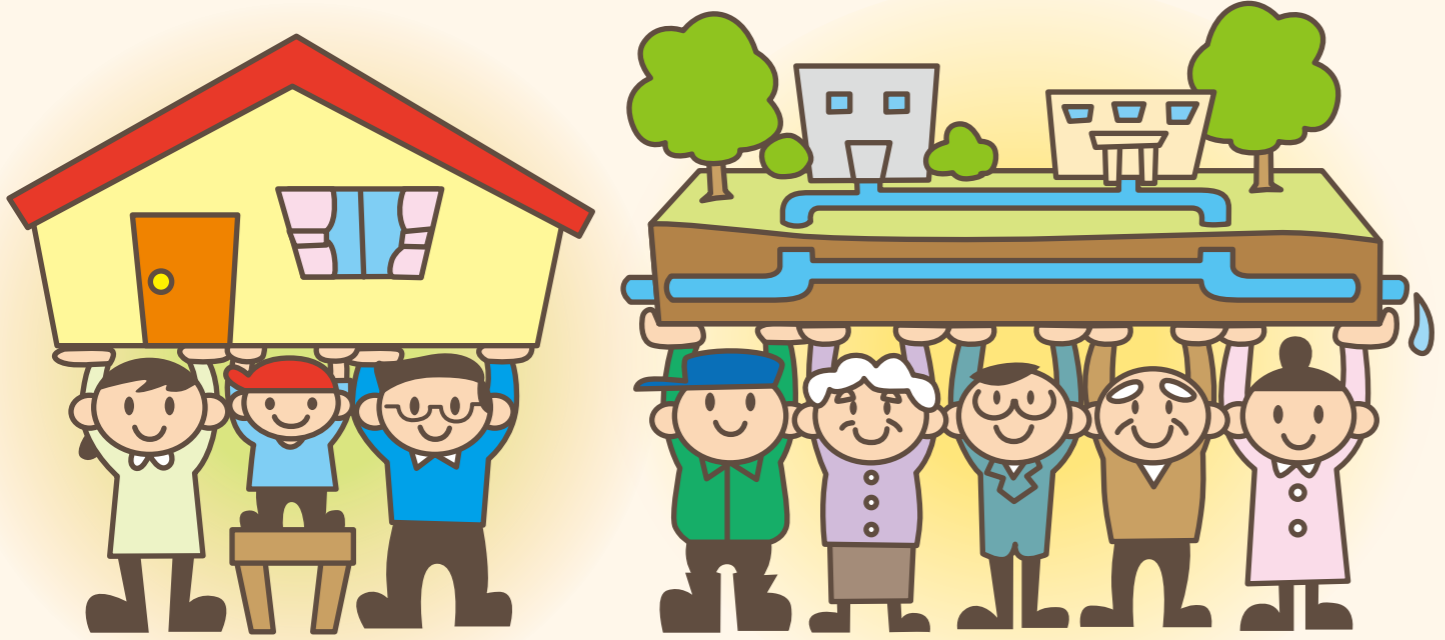
岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅第 13 地割 123 番地
TEL：019-697-2111(代表) FAX：019-697-3121
水道やはばホームページ <http://suidou.town.yahaba.iwate.jp/>



Q 下水道を整備するためにたくさんの借金をしているのですか？

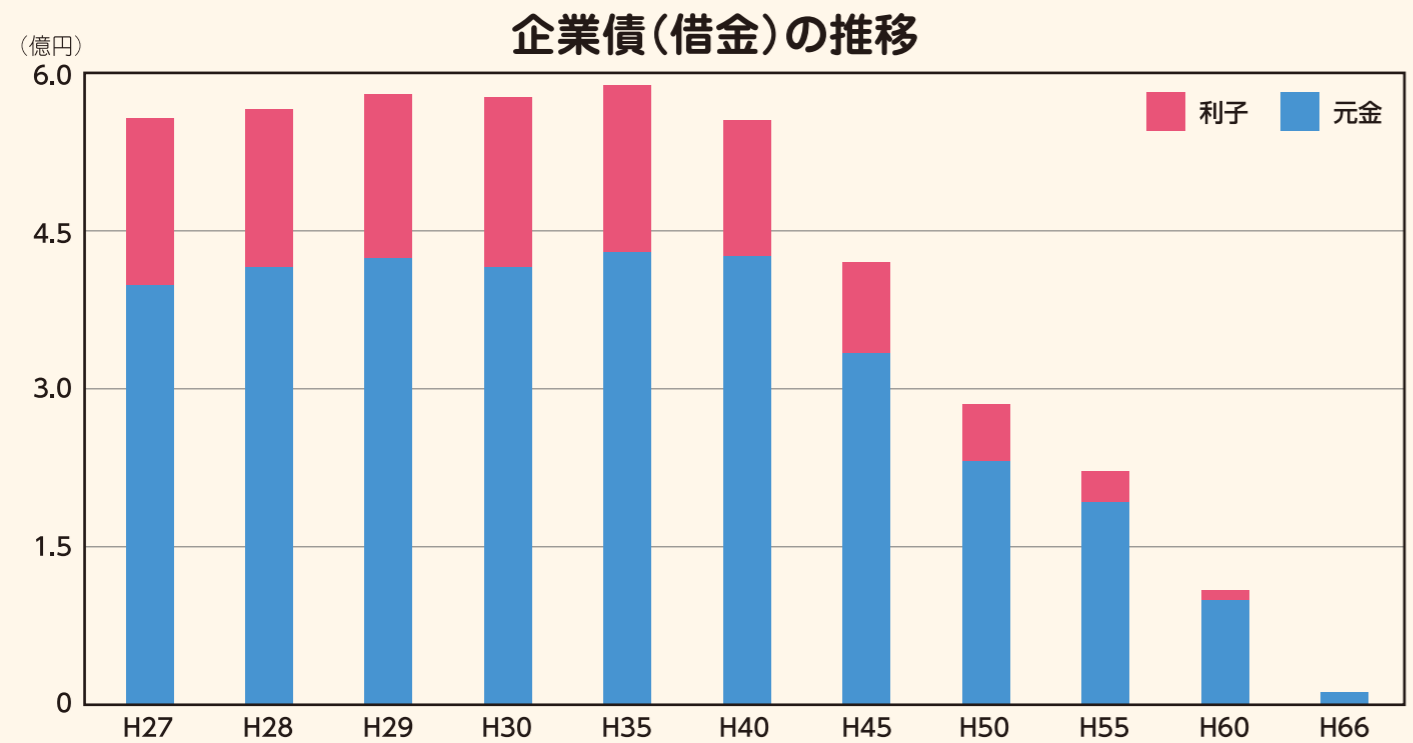
下水道を整備するためには、その費用の約2分の1を国からの補助金で賄っています。残りの費用のほとんどは、企業債(借金)で賄っています。

企業債は、いわば家を建てる時の住宅ローンのようなものです。長く使える下水道施設の建設費を少しずつ返済していきます。下水道整備によって実現した快適な生活を、多世代にわたってみんなで公平に支えていくための工夫です。



マイホームは家族みんなで支えます

下水道は町民みんなで支えます



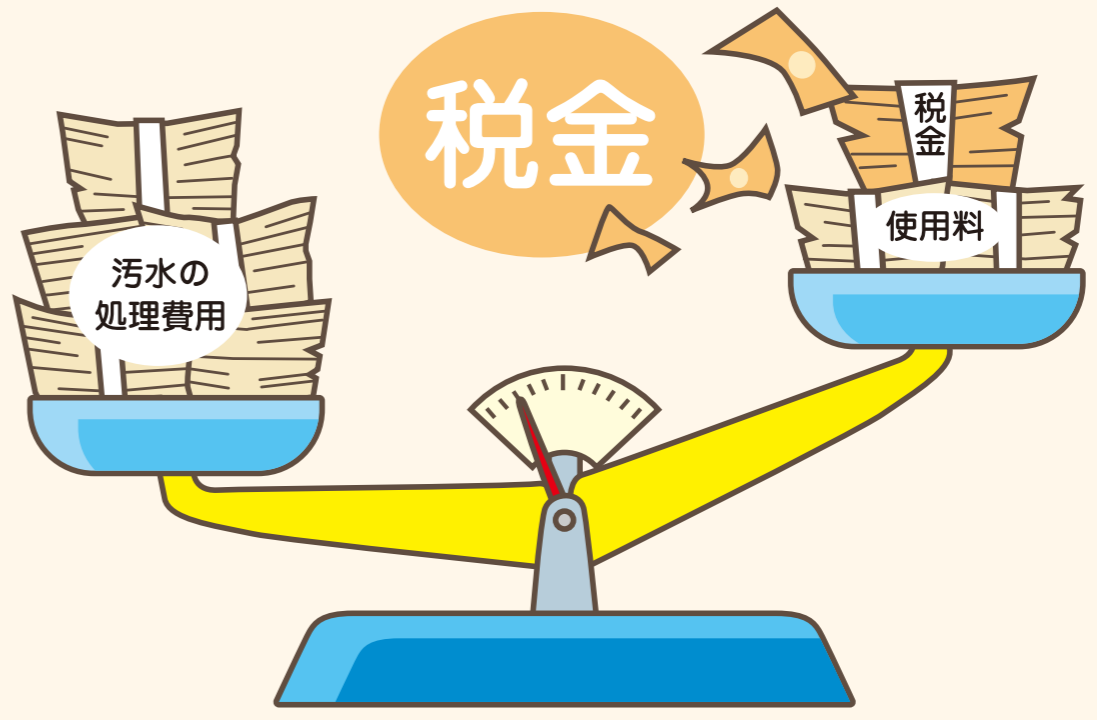
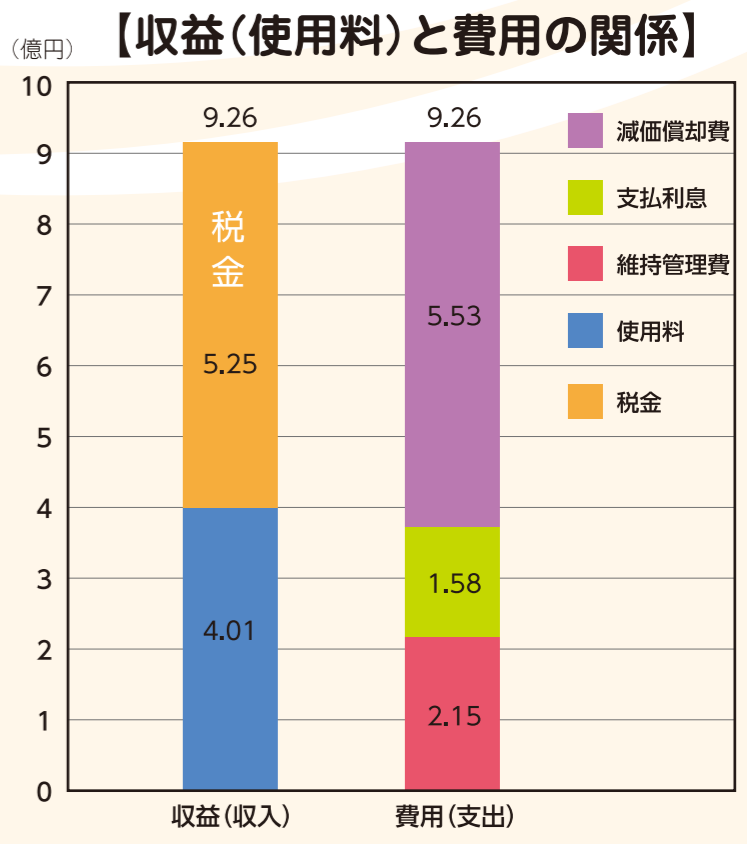
※平成27年度末の企業債残高は73億6千9百万円で、償還(支払)は平成43年頃までは約4億円で推移し、その後は減少に転じます。

Q 下水道の使用料は何に使われているのですか？

下水道施設を維持管理していくための経費や、減価償却費、借金の利息の支払いに充てられています。

※平成27年度決算見込みで、下水道にかかる費用のうち、使用料で賄われているのは、全体の約43%で、残りは税金で賄われています。

※減価償却費
下水処理場や下水道管などは、時間の経過による老朽化や使用によって資産価値が減少します。この価値の減少分を耐用年数をもとにして毎年金額に換算します。これを減価償却費といいます。



本来は、皆さんの使用料で、汚水を処理していくのが原則ですが、使用料では不足するため矢巾町ではその一部について税金(公費)をあてています。